【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-527648(P2005-527648A)
【公表日】平成17年9月15日(2005.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2005-036
【出願番号】特願2003-549463(P2003-549463)
【国際特許分類】
Ｃ１０Ｍ 173/00 (2006.01)
Ｃ１０Ｍ 101/02 (2006.01)
Ｃ１０Ｍ 131/10 (2006.01)
Ｃ１０Ｍ 133/42 (2006.01)
Ｃ１０Ｍ 133/48 (2006.01)
Ｃ１０Ｍ 135/32 (2006.01)
Ｃ１０Ｎ 30/16 (2006.01)
Ｃ１０Ｎ 40/20 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１０Ｍ 173/00
Ｃ１０Ｍ 101/02
Ｃ１０Ｍ 131/10
Ｃ１０Ｍ 133/42
Ｃ１０Ｍ 133/48
Ｃ１０Ｍ 135/32
Ｃ１０Ｎ 30:16
Ｃ１０Ｎ 40:20 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月25日(2005.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
潤滑油または液圧もしくはタッピング流体に油－水分配可能な抗微生物剤を添加し、それによって抗微生物化合物の有効量が金属加工流体の中へ分配させて、微生物活性を減少させることを特徴とする、潤滑油または液圧もしくはタッピング流体が金属加工流体を汚染する場合がある機械における油－水エマルジョン金属加工流体中の微生物増殖を防止する方法。
【請求項２】
ｉ）機械が工作物を機械加工するツーリングを有する工作機械であり、ｉｉ）金属加工流体が切削流体であり、ｉｉｉ）潤滑油が滑り面潤滑油であり、ｉｖ）工作機械が貯槽または液溜めを有し、切削流体がそこに流出し、そして切削流体がそこからツーリング／工作物に配送され、そして更にｖ）抗微生物剤の有効量を切削流体に配送するための運搬手段として、切削流体溜めへの滑り面潤滑油の移動を用いる工程によって特徴づけられる請求項１に記載の方法。
【請求項３】
工作機械が潤滑油または液圧流体のための貯槽を有し、そして抗微生物剤が該貯層に添

加されることを更に特徴とする請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
抗微生物剤が組成物として潤滑油または液圧もしくはタッピング流体と一体化されていることを更に特徴とする請求項１または２に記載の方法。